

KCRC-25-0028

臨床研究の名称	AMP に対する病理学的評価とその検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 大熊 堯
研究の概要	【目的】 間質性肺炎の中で、これまで desquamative interstitial pneumonia (DIP) と呼ばれてきた喫煙関連のびまん性肺障害が、2025 年の ATS/ERS 国際分類改訂において alveolar macrophage pneumonia (AMP) という名称に変更されました。AMP は、肺胞腔内に喫煙由来の色素沈着マクロファージがびまん性に蓄積することを主病変とし、従来は「禁煙やステロイドで改善する比較的可逆的な病態」と理解されてきました。 しかし、AMP は必ずしも良性経過ばかりではなく、時間の経過とともに線維化が進み、進行性線維化肺疾患のような経過をとる症例が報告されています。そのような AMP に関して、これまで病理学的評価についての報告はありませんでしたが、当院にて AMP と診断された患者さんについて、疾患の進行等により再度肺生検等を実施し、病理学的評価を行った例が 4 例ありました。そのため、この研究ではその 4 例について、病理学的評価による経過等の検討を行い、病理学的評価を含めた特徴を明らかにします。 【対象患者】 2005 年 1 月～2023 年 9 月の間に当院で DIP と診断され、その後、疾患の進行による再生検または肺移植を受けた患者さん 【方法】 上記の方を対象に下記情報を収集し検討します。 【使用する情報】 ・ 基本情報（年齢、性別、喫煙歴、身体所見など） ・ 検査所見に関する情報（血液検査、CT 画像・所見、肺機能検査、病理学的所見など） ・ 治療に関する情報（症状、治療内容、治療経過） 【情報使用の開始予定日】 2026 年 1 月開始予定
問い合わせ先	呼吸器内科 医師 大熊 堯、部長 馬場 智尚 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号 045-701-9581（代表）

2025 年 12 月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じる

ことはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。